

西洋陶芸など新たな講座も仲間入り

# 後期「宮水ジュニア」開講

地域の教育力を生かしながら、幅広い年齢間での子どもとの交流を図ります。申込は10月14日まで。申込方法は詳しい内容は、10月初旬に学校を通じて対象者に配布する募集パンフレットをご覧ください。

【日程】11月～来年3月のおおむね第2・4土曜の午前

【講座内容】陶芸、そばん、押し花、マジック、自然体験、ヨーガ、西洋陶芸、漢字、編み物、絵画、中国武術、将棋、囲碁の13種目14講座

【対象】おおむね小学4年～中学3年

教育委員会は、11月に開講する平成17年度後期「宮水ジュニア」の受講生を募集します。同講座は、地域の皆さんなどを講師に迎え、

## モダンデザインのパイオニア 生誕100年 今竹七郎大百科展



ポスター「八王子織物宣伝大会」昭和5年(1930年)

「メンタム」のロゴマークなど、現在でも良く目にする商品をデザインしたことで有名な今竹七郎さん。今竹さんの生誕100周年を記念した展覧会「今竹七郎大百科展」が、この秋、西宮市大谷記念美術館で開催されます。

モダンデザインの発展とともに活躍した今竹さんは、デザイナー、画家としての

活躍以外にも、デザイン理論を発表するなど幅広い分野で才能を開花させました。また、本市が発行する「市民べんり帳」、「グラフィックのみや」等のデザイン・構成も長年手がけていました。今回の展覧会では、今竹さんが制作した作品だけでなく、今竹さんが集めたコレクションなども展示し、「人間・今竹七郎」の魅力に迫ります。

【開催期間】10月8日～11月27日(水曜休館)23日は開館し、翌24日は休館の午前10時～午後5時(入館は4時半)

【入館料】一般500円、高校生・大学生300円、小学生200円、幼児100円、保護者100円、先着順

# もっと気軽にスポーツを

体育の日に体育館など無料開放

10月10日の「体育の日」を中心に、市立体育館の無料開放や、各地区の体育振興会・スポーツクラブ21による運動会など、様々なイベントが行われます。ご家族そろってお楽しみください。問合せはスポーツ振興課(0798・74・0554)へ。

市立体育館の無料開放  
クォーターテニス、バドミントン、卓球が無料で楽しめます。利用申込は各館で受け付けます。用具も無料で貸し出します(上履きなどは各自で持参を)。

西宮スポーツセンターの無料開放  
午前10時から午後4時まで、マシニングとゴルフ練習場を無料開放します。マシニング利用者はトレーニングウェア、上履き(無い場合利用不可)、タオルを、ゴルフ練習場利用者はクラブを各自持参してください。

通常のマシニングとゴルフ練習場の一般利用は、1回500円(時間制限なし)。便利な回数券もあり。時間は午前10時～午後9時(日曜・祝日は5時)。第4月曜休み

「西宮市民毎日歩こう走ろう会」は、市民の皆さんに健康づくりに親しんでいただくこと、市内の公民館、体育館等26の拠点を設け、皆さんの自宅から近いコース(各1.5km、2km程度)を選んで、自由に歩いたり走ったりしてもらおうと

地区名	日程	地区名	日程
浜脇	10/9	深津	10/9
西宮浜	10/30	瓦林	10/15
香櫨園	10/9	上甲子園	10/9
安井	10/9	津門	10/8
夙川	9/19 済	春風	10/9
	10/2	今津	10/9
北夙川	10/10	用海	10/2
	11/3	鳴尾	10/9
苦楽園	10/15	南甲子園	11/3
大社	9/24	甲子園浜	10/10
神原	10/1	高須	10/9
甲陽園	10/9	鳴尾東	9/4 済
広田	10/9	鳴尾北	10/16
平木	10/1	鳴尾北	10/9
甲東	10/9	小松	10/16
上ヶ原	10/1	山口	10/23
	10/10		11/6
上ヶ原南	10/9	北六甲台	10/23
段上	10/9	船坂	9/25
段上西	10/15	名塩	10/9
樋ノ口	9/24	東山台	9/11 済
高木	10/10		10/10
瓦木	10/10	生瀬	10/2

9月30日～10月10日 平成18年

2006 のじぎく兵庫国体

西宮市の開催種目

- セーリング
- 新体操
- ボクシング
- スポーツ芸術
- 日本拳法
- ティールール

挑戦してみませんか

## 西宮国際ハーフマラソン

11月13日に「西宮国際ハーフマラソン」を開催します。種目は、ハーフ・フルマラソン、各男女と小学生の各3種です。

申込書は、各体育館・公民館・支所などで配布しています。多数の皆さんの参加をお待ちしています。

問合せはスポーツ振興課(0798・74・0554)へ。

広告

## 阪神米穀のお米

# えっさん

■本社 TEL.0798(26)0221(代表)

### 秋とつやつやの新米

田んぼの稲穂が黄金色に熟し始めると、いっそう秋が深まります。いよいよ新米の収穫時期がやってきました！新米は季節感の乏しくなった現代の食生活の中で、数少ない「旬」を感じる食べ物のひとつです。秋の味覚を心待ちにする感覚は、どこか独特なもの。食欲の秋、つやつやの新米ごはん家族みんなの笑顔がこぼれます。

阪神米穀は「おいしいごはんを食べよう県民・国民運動」を応援しています。